

芝川小だより

8・9月 第5号

さいたま市立芝川小学校
令和7年8月27日
TEL 048(644)7544



2学期スタート！ ～ 言葉の力 ～

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が校舎に戻ってきました。日焼けした笑顔や、少し背が伸びた姿から、夏の成長を感じる季節です。2学期には、運動会など、子どもたちが大きく成長する行事がたくさんあります。「できた!」「わかった!」という喜びを積み重ねながら、一人ひとりが自分の力を発揮できるよう、私たち教職員も全力でサポートしてまいります。また、友だちとの関わりの中で、思いやりや協力の大切さを学ぶ機会も大切にしていきたいと思っています。

さて、夏休み中の7月30日に、大宮国際中等教育学校で「さいたま市ストップいじめ! 子どもサミット」が開催されました。このサミットは、さいたま市の小・中学校の児童生徒代表、教職員、保護者、地域団体、関係行政機関が一堂に会し、いじめ防止について考えることを目的に、形を変えながら毎年行われています。本校からは、児童会長、校長、児童会担当教職員、PTA 会長が参加し、第二東中学校、海老沼小学校、片柳中学校、片柳小学校の皆さんとともに、活動や話し合いを通して「ストップいじめ!」を実現するために大切にしたい言葉やメッセージを考えました。最後には、全小・中学校の参加者が体育館に集まり、思いを共有しました。その活動の中で、私が改めて感じたのは、言葉の持つ力とその大切さです。

皆さんは「ハインリヒの法則」をご存じでしょうか。この法則は、「1件の大きな事故の背景には、29件の軽いケガやトラブル、そして300件のヒヤリとした出来事がある」という統計に基づいたものです。つまり、大きな事故は突然起こるのではなく、小さな危険や不注意が積み重なって起こるということです。これは、子どもたちの友だち関係にも当てはまります。

「ちょっとこのくらいなら、言ってもいいだろう」

「ちょっとこのくらいなら、やってもいいだろう」

「ちょっとこのくらいなら…」



友だちに少しきつい言い方をしてしまった時、「今の言い方、少し強かったかな」と気づくことができれば、仲良しの関係を守ることができます。小さなことに気づき、少しずつ直していくこと。それが、友だちとの絆を深める大切な力になります。

2学期は、友だち関係が広がるだけでなく、より深まっていく時期です。言葉を大切にし、コミュニケーションを楽しみながら、共に成長できる2学期にしたいと思っています。

引き続き、子どもたちの健やかな成長のために、学校・家庭・地域が手を取り合って歩んでいければ幸いです。実り多き2学期となりますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

そしてこの話、子どもたちの友だち関係だけでなく、大人にも当てはまるなぁと感じました。教師と子ども、親子、同僚…。私自身も時々振り返ってみたいと思います。